

水辺の自然再生ミニシンポジウム・地域研修会開催  
里山里地水辺の自然再生と保全活動  
外来種防除による里山ため池群の自然再生戦略

会場 尾幌会館\* (大崎市鹿島台平渡字上戸下 27-6)  
期日 2026年2月14日(土) 14:30~17:15  
主催 NPO法人シナイモツゴ郷の会、旧品井沼周辺ため池群里山未来拠点協議会  
\*尾幌会館: JR鹿島台駅西口から東方500m、鹿島台小学校向かい

次 第

趣旨説明

外来種を防除しゼニタナゴ・シナイモツゴ等希少種を守ろう 根元信一(シナイモツゴ郷の会) 14:30~14:40

講 演

1. 里山ため池群の自然再生実証実験、成果と保全計画 高橋清孝(シナイモツゴ郷の会) 14:40~15:00
  2. 人工水草で簡単化●極小ザリガニ捕獲と復元生物のモニタリング  
長谷川政智・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会) 15:00~15:15
  3. 水生植物の復元を目指して一埋土種子の栽培試験の成果と今後の課題 早坂史郎(南郷高校) 15:15~15:30
  4. 大崎耕土の自然共生サイトの紹介-特に沢田上地区の居久根・周辺水田について大崎市の取り組み  
三宅源行(大崎市世界農業遺産未来戦略推進室) 15:30~15:45
  5. 実物展示 菊地雄一・宮路憲昭・小野寺六郎・長谷川政智・高橋清孝(シナイモツゴ郷の会) 15:45~16:00
    - 1) 新開発● これまで捕獲できなかった小型ザリガニを新たな連続捕獲装置で大量捕獲  
小型ザリガニ連続捕獲装置:「こんなにいたのか?」小型ザリガニが驚くほど捕れた
    - 2) 大改造● 大・中型ザリガニ用連続捕獲装置を小型軽量化:軽くて簡単、捕獲性能が大幅に向上、低密度管理に最適
    - 3) 試食会● 小型ザリガニビスクスープ:未利用の小型ザリガニを高級食品へ、地元のマルヒ食品・南郷高校・宮城水産高と連携し、塩水飼育小型ザリガニのスープをレトルト化、試験販売を計画中
  6. 子供たちと共に米作りする田んぼの学校のノウハウ 船橋玲二(NPOたんぼ) 16:00~16:15
  7. 二枚貝研究成果と保全の展望 東北大学 馬場雄司 16:15~16:30
- 総合討論 座長 高橋清孝 16:30~17:15

開 催 趣 旨

当会は、地域の方々と連携して2002年からブラックバスとアメリカザリガニ退治を続け、里山のため池にしか生息できない貴重な生き物を守ってきました。鹿島台地区の里山ため池では絶滅寸前だったゼニタナゴ、シナイモツゴ、トンボ類ヤゴなど多くの生き物が復活し、これらを現場で間近に観察し、復元しつつある豊かな自然を実感できるようになりました(写真)。保全対象の「旧品井沼周辺ため池群」は2024年3月に環境省「自然共生サイト」に登録、アメリカザリガニについては、2023年6月に条件付特定外来生物に指定、希少な魚類は2024年2月に種の保存法の改正によりゼニタナゴが国内希少野生動植物種特定第一種(動物では初めて)、シナイモツゴが特定第二種に指定、さらに、2025年9月にゼニタナゴとシナイモツゴの生息池が大崎市天然記念物に指定されました。これらの制度改革や法律改正を受け、本シンポジウムなどで協議しながら、行政機関、地域の方々、大学、学校、企業と連携して、ため池群の希少種保全と取り組んでいきたいと考えています。2023~2025年に旧品井沼周辺ため池群の豊かな自然の復元と保



復活した淡水魚(ゼニタナゴとシナイモツゴ:左)と  
トンボ類ヤゴ(コシアキ、コサナエ、モノサシ:右)

全を目的にアメリカザリガニ防除に関する技術開発と取り組んできましたので、その成果を報告し今後の取り組みについて議論します。さらに、当会会員の若手研究者からも、成果発表をいただき、情報・意見交換できればと考えています。



問い合わせ先: NPO法人シナイモツゴ郷の会

理事長 高橋清孝 電話 090-4043-3692

副理事長 根元信一 電話 090-3128-1312